

完了後の評価個表

整理番号	89
------	----

事業名	地域防災対策総合治山	都道府県名	兵庫県
地区名	梶森	事業実施主体	県
関係市町村名	養父市	管理主体	県
事業実施期間	平成3年～平成11年(9年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要	<p>当該地区は兵庫県中央部よりやや北側に位置しており、須留ヶ峰や御祓山などの急峻な山岳の流域にあたるため集水区域が広く、溪流は荒廃が進み不安定土砂の堆積が見られていた。平成2年9月の台風19号の豪雨により土砂崩壊や土石の流下が発生し、人家、田畑に被害をもたらした。このため、当該荒廃山地・溪流に起因した山地災害の防止を図るため、不安定土砂が堆積している溪流に谷止工を設置し、下流域の民生の安定及び健全な森林状態への復旧を図り、生活環境基盤の整備に資するものである。</p> <p>※主な実施内容 谷止工 17基 床固工 4基 護岸工 25.45m</p>
-------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成17年度時点での費用対効果分析の結果は、以下のとおり。</p> <table> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>773,148 千円</td> <td>(水源かん養)</td> <td>17,964 千円)</td> </tr> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>2,390,533 千円</td> <td>(災害防止)</td> <td>2,372,569 千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>3.09</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	総費用 (C)	773,148 千円	(水源かん養)	17,964 千円)	総便益 (B)	2,390,533 千円	(災害防止)	2,372,569 千円)	分析結果 (B/C)	3.09		
総費用 (C)	773,148 千円	(水源かん養)	17,964 千円)										
総便益 (B)	2,390,533 千円	(災害防止)	2,372,569 千円)										
分析結果 (B/C)	3.09												
② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・事業着手前は、不安定土砂の堆積、浸食の進行により荒廃が進んでいた。 ・事業実施により、溪流の不安定土砂の固定、浸食防止のため谷止工を施工した。また流木対策としてスリットダムを施工した。 ・現在、溪流からの土砂流出、流木の流出による人家等への被害が防止できている。 												
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理は県民局が行っている。 ・梅雨時期前の防災パトロール、及び周辺の現場監督業務時に併せて施設の点検を行っている。 ・現在、施設は良好な状態で管理されている。 												
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・事業着手前の溪流は不安定土砂が堆積していた。事業実施により谷止工を設置し、不安定土砂が固定され森林の機能回復が図られた。 												
⑤ 社会経済情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地区内には、旧養父町と旧大屋町を結ぶ林道須留ヶ峰線及び県道279号線が通過し、地域住民の生活道路として利用されており、安全通行に寄与している。また、生活環境保全林内に石ヶ堂古代村(キャンプ場及びバンガロー)もあり、登山者をはじめ森林への来訪者の安全性が確保されているなど治山事業の実施により防災面の安全性が向上している。 保全対象 人家 106戸 県道 1000m 市道 500m 林道 500m 												
⑥ 今後の課題等	<p>完了後の降雨により発生した流出土砂の抑制効果を発揮しているが、今後さらに土砂の流出が続く、下流保全対象への影響が予見される場合は、さらなる対策の是非を検討していく必要がある。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：荒廃地等の状況及び災害発生の危険性並びに下流の人家等の保全対象から荒廃地等の復旧整備が求められるとともに、周辺の森林を含む環境から健全な森林への誘導が望まれることが見込まれるところであり、必要性は認められる。 ・効率性：費用対効果分析を試行した結果、費用以上の効果が見込まれるところであり、効率性は認められる。 ・有効性：荒廃地等からの土砂流出等の減少や災害の防止、良好な森林環境の形成が計られることが見込まれるところであり、有効性は認められる。 												

完了後の評価個表

整理番号	90
------	----

事業名	生活環境保全林整備	都道府県名	兵庫県
地区名	みなみやまだ まきの 南山田(牧野)	事業実施主体	県
関係市町村名	姫路市	管理主体	県
事業実施期間	平成6年～平成11年(6年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要	<p>当地は、姫路市北部に位置し、既成市街地も近いことから、土砂流出防備、保険休養の場としての整備が望まれていた。このため、</p> <p>①荒廃溪流を整備し、下流域の保全を図る。</p> <p>②松食い虫被害等による荒廃林地を整備し、多様な樹種を植栽して植生遷移を促し、潜在自然植生に誘導を図る。</p> <p>③四季を通じ入り込み利用の場を提供し、森林の持つ生態系を見る・遊ぶ・学べる地域として整備を行った。</p> <p>以上の整備を進めることで、溪流の保全、生活環境及び自然環境の創出を図り保安林の有する機能を多目的かつ高度に発揮させる。</p> <p>※主な実施内容 森林整備35.69ha、谷止工3基、流路工218m、管理道3,888m</p>
-------	--

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成17年度時点での費用対効果分析の結果は、以下のとおり。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">総費用(C)</td> <td style="text-align: right;">670,824千円</td> <td style="text-align: right;">(水源かん養)</td> <td style="text-align: right;">319,648千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">総便益(B)</td> <td style="text-align: right;">1,709,299千円</td> <td style="text-align: right;">(環境保全)</td> <td style="text-align: right;">71,265千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">分析結果(B/C)</td> <td style="text-align: right;">2.55</td> <td style="text-align: right;">(災害防止)</td> <td style="text-align: right;">1,318,386千円)</td> </tr> </table>	総費用(C)	670,824千円	(水源かん養)	319,648千円)	総便益(B)	1,709,299千円	(環境保全)	71,265千円)	分析結果(B/C)	2.55	(災害防止)	1,318,386千円)
総費用(C)	670,824千円	(水源かん養)	319,648千円)										
総便益(B)	1,709,299千円	(環境保全)	71,265千円)										
分析結果(B/C)	2.55	(災害防止)	1,318,386千円)										
② 事業効果の発現状況	<p>事業を実施したことにより、溪流の安定が図れた。また、森林整備等を含め総合的に整備をおこなったことにより、区域内のキャンプ場の入り込み者数が年間6000人程度と大幅に増加した。</p>												
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>施設の管理は、兵庫県及び姫路市が適正に行っている。</p>												
④ 事業実施による環境の変化	<p>事業実施により荒廃溪流・林地の安定が図られた。また、被害木の整理や多様な樹種による森林整備を実施したことにより、健全な森林が育っており、生活環境・自然環境の形成がなされている。</p>												
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>被害想定区域の保全対象は増加していない。 人家 41戸 市道 500m</p>												
⑥ 今後の課題等	<p>長期的に健全な森林を維持するため、管理を適正におこなっていく必要がある。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：荒廃地等の状況から災害発生の危険性があり下流の人家等の保全対象から荒廃地等の復旧整備が求められるとともに、周辺の森林を含めた環境から、森林整備が求められているところであり、必要性は認められる。 ・効率性：費用対効果分析を試行した結果、費用以上の効果が見込まれるところであり、効率性は認められる。 ・有効性：荒廃地等からの土砂流出の減少、災害の防止及び健全な森林が形成されることにより、災害の防止や環境の保全が図られることが見込まれるところであり、有効性は認められる。 												

完了後の評価個表

整理番号	91
------	----

事業名	水源森林総合整備	都道府県名	兵庫県
地区名	なかじょうちゅうきん 中条中筋	事業実施主体	県
関係市町村名	南あわじ市	管理主体	県
事業実施期間	平成7年～平成11年(5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要	<p>当地区は、アカマツ林が松くい虫被害により枯損し、それに伴い溪流荒廃も進行しており、下流保全対象の初尾川ダム、ヤゴヤ池に多量の土砂が流出していた。このため、溪流荒廃に対し、土砂流出対策として谷止工を施工し、枯損したアカマツ林では改植を実施することで、水源地域の土砂にあたる当該保安林の水源かん養機能を高度に発揮させ、水資源の確保と国土の保全に寄与した。</p> <p>※主な実施内容 谷止工2基、森林整備57.47ha</p>
-------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成17年度時点での費用対効果分析の結果は、以下のとおり。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">総費用 (C)</td> <td style="padding-right: 20px;">284,211 千円</td> <td style="padding-right: 20px;">(水源かん養)</td> <td>452,723 千円)</td> </tr> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>1,409,662 千円</td> <td>(災害防止)</td> <td>956,939 千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>4.96</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	総費用 (C)	284,211 千円	(水源かん養)	452,723 千円)	総便益 (B)	1,409,662 千円	(災害防止)	956,939 千円)	分析結果 (B/C)	4.96		
総費用 (C)	284,211 千円	(水源かん養)	452,723 千円)										
総便益 (B)	1,409,662 千円	(災害防止)	956,939 千円)										
分析結果 (B/C)	4.96												
② 事業効果の発現状況	土砂流出対策として施工した谷止工が、平成16年台風23号災害により発生した山腹崩壊土砂を受け止め、下流保全対象の被害を軽減させるなど、その機能を十分に発揮している。												
③ 事業により整備された施設の管理状況	梅雨時期前の防災パトロール、及び周辺の現場監督業務に併せて施設の点検を行っており、施設は良好な状態で管理されている。平成16年台風23号発生後、さらなる保安林機能を発揮させるため、平成16年度地域防災対策総合治山事業により、同流域において谷止工1基を施工した。森林整備箇所については、保育事業により下刈等の作業を実施し、植栽木は良好に成長している。												
④ 事業実施による環境の変化	事業実施により、溪間に堆積していた不安定土砂の安定が図られ、植栽木は良好に成長し、保安林機能が回復している。												
⑤ 社会経済情勢の変化	周辺地域における人口動態及び保全対象の変化は特になし。 保全対象：初尾川ダム 受益面積165ha・受益戸数120戸												
⑥ 今後の課題等	保安林機能の維持増進を図るため、治山施設の点検等を適宜行い、森林については保育事業により適正な管理を行っていく。												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：水資源の確保と国土の保全等の観点から水源のかん養が求められる地域であり、荒廃地等の復旧整備や森林の整備等が求められるところであり、必要性は認められる。 ・効率性：費用対効果分析を試行した結果、費用以上の効果が見込まれるところであり、効率性は認められる。 ・有効性：荒廃地等からの土砂流出等の減少し、災害の防止及び健全な森林が形成されることにより、森林の水源かん養機能の向上が図られることが見込まれるところであり、有効性は認められる。 												